

令和4年度 社会福祉法人福島県社会福祉協議会 地域包括・在宅介護支援センター協議会 事業計画

【基本方針】

自分らしい人生を最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを推進しており、地域包括支援センターや在宅介護支援センターには、地域の特性を踏まえた地域包括ケアシステムの更なる深化・推進に向けて、中心的な役割を担うことが求められています。

また、国の施策において、高齢者や障がい者、子ども等すべての人が、地域や暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことのできる「地域共生社会」を実現することが求められ、地域包括支援センターや在宅介護支援センターには、地域住民や関係機関との連携による相談支援体制の強化が期待されています。

これらのことを踏まえ、各種関係機関・団体と連携体制を強化するとともに、情報提供や研修を通して各センターへの支援並びにセンター職員の資質向上を推進していきます。

併せて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と介護予防の観点から、「新しい生活様式」に基づき、コロナ禍を見据えた取組を行っていきます。

【重点目標】

- (1) 初任者及び現任者研修の円滑な企画・運営を行い、職員の育成・スキルアップを図る。
- (2) 協議会の組織強化、支部活動活性化に向けた取組を推進するとともに、未加入センターに対して積極的に周知・広報を行っていく。
- (3) 相双支部における帰町・帰村会員センターへの支援に向け、課題の共有を図る。
- (4) 県・市町村・市町村社会福祉協議会との連携を図る。
- (5) 地域の生活課題・福祉課題を踏まえた社会福祉法人等による地域における公益的な取組に協力し、その推進を図る。

【事業実施内容】

1 会の運営に関すること

- (1) 総会 1回
- (2) 役員会 2回
- (3) 監事会 1回

2 事業の実施に関すること

- (1) 委員会活動
 - ①企画広報委員会 2回

広報紙の発行、ホームページの運営

- ②研修委員会 4回
初任者研修、現任者研修の企画・運営

(2) 広報紙「Active ふくしま」第11号の発行 発行部数：500部

(3) 活動の支援に関すること

- ①各支部へ活動費の助成（@3,000円×会員数 ※上限50,000円）
- ②相双支部との情報交換会の実施

(4) 職員研修（初任者研修）の開催

(5) 職員研修（現任者研修）の開催

3 関係団体との連携・協力

全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、東北ブロック組織及び福島県社会福祉協議会等と連携・協力を行う。

(1) 全国関係

- ①全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 協議員総会への出席（2回）
期日：令和4年5月27日（金）
会場：オンライン開催
- ②全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会への参加
期日：令和4年10月3日～4日
会場：兵庫県神戸市
- ③全国地域包括・在宅介護支援センター研修会への参加
期日：令和5年3月10日
会場：全社協「灘尾ホール」他

(2) 東北ブロック ※令和4年度の東北ブロック幹事は宮城県

- ①東北ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会会長等合同会議（3回）
（7月・11月・2月）
- ②東北ブロック地域包括・在宅介護支援センター職員研修会
期日：令和4年11月15日又は16日（1日のみ）
会場：宮城県仙台市「仙台市福祉プラザ」※当日ライブ配信及びオンデマンド配信
予定

(3) 福島県社会福祉協議会

- ①評議員
- ②総合企画委員会

- ③介護研修事業検討委員会
- ④福島県運営適正化委員会運営監視部会
- ⑤福島県地域生活定着支援センター運営推進委員会

(4) 福島県

- ①高齢者福祉施策推進会議
- ②高齢者権利擁護推進会議
- ③福島県認知症施策推進協議会
- ④在宅医療推進協議会
- ⑤介護予防市町村支援委員会
- ⑥高次脳機能障がい支援会議
- ⑦県北地域住宅懇談会
- ⑧県中地域住宅懇談会

(5) ふくしま健康長寿フェスティバルへの協力
内容等 未定